

## 活動計画書 / 活動実施計画書

団体名：鶴舞・千種エリアマネジメント協議会

### 1 組織の現況、課題

#### 【現況】

鶴舞・千種エリアマネジメント協議会は、イオンタウン、浩養園、メガロス千種をはじめとした事業者と名古屋工業大学を中心に、千石小学校区の会長も参加し、2022年9月に設立した団体である。地域の魅力を活かしたエリアマネジメントの実施により、住みよいまちの実現に向けた持続的なまちづくり活動を行うことを目的としている。2022年度は、まちづくり活動の方針を考える勉強会を開催し、オープンスペースの魅力と課題の把握、活用アイデアを考えるまち歩きワークショップを実施した。また、周辺事業者が連携した防災イベントをおこない、これらの活動から出た意見をまとめ「将来ビジョン ver0」を年度末に作成した。

#### 【課題】

①協議会によるまちづくり活動へ住民を巻き込めていない。特に196名（令和4年5月時点）の児童を抱える千石小学校区に多く在住している「30～40代の親子世帯」の参加が少ない。協議会が今後連携を図っていく千石学区の活動を支えるメンバーも高齢化が進んでいる。取組みを長期的に進めていくにあたって賛同が得られにくいことや、将来ビジョンやアクションプランの作成に向けたアンケートやワークショップなど、今後まちの中心を担う世代の方が参加して欲しい取組みにおいて参加が望めないことが課題である。

②協議会の取組みが、活動エリアにおいてあまり認知されていない。地域内において認知がされていないことにより、①でも言及した取組みに対する賛同が得られにくいことやまちづくりへの参加が多く望めないことが課題である。認知が広がっていない要因として、地域住民への地域イベント実施に関する広報の不足、取組みに触れやすい環境づくりの不足、そして地域住民のまち自体への関心度が低いことが考えられる。

### 2 助成を受けようとする活動の目的

現状抱えている2つの課題をとらえ、助成を受けた信頼性の高い団体として協議会活動の認知や鶴舞・千種エリア自体への関心を広げ、地域住民のまちづくり活動への参加を促していくことを目指す。まちづくり活動への参加促進を通し、今後まちづくりの担い手となる地域住民が自分の住むまちに対して誇りや愛着を持つように意識を育てることを目的とする。これらの意識を育むことで、「将来ビジョンの作成」や「持続的なまちづくり」に繋がっていくと考えている。

### 3 活動による今年度の成果目標

- ①まちづくり活動について地域住民へPRすることにより協議会を中心としたまちづくり活動の認知が鶴舞・千種エリアにおいて広がること。
- ②まちの将来を考えるアンケートやワークショップなど協議会のまちづくり活動に参加する地域住民が増えること。

### 4 助成を受けようとする今年度の活動内容

- ① 連携イベントの告知

本年度は学区と事業者間の連携、公共空間の活用、地域住民の参加促進を目的とした連携イベントを夏と秋に計画している。夏イベントでは、小学校や親子で利用者の多い地元スポーツ施設でのチラシの配布や町内会掲示板へのポスター掲示を通じた PR をおこなうことで、親子世帯の参加者を増やし、まちへの関心度やまちづくり活動への認知を高めていく。

また、オリジナルうちわを用いたラリーを実施し、開催拠点をつなぐ歩道に対して統一したデザインの装飾を施すことで、拠点同士の活動が認識しづらい千種アーススクエアを中心としたエリアにおいて住民が今後は取組みに参加しやすい環境づくりのきっかけとなることを目指す。

② まちの魅力マップの作成

夏イベントでは、住民の方々を巻き込んだマップづくりを夏の地域イベントと連動して実施する。シールを使って関心度の高い要望やまちのスポットを地域住民から収集し、マップを作成する。作成したマップは小学校やスポーツ施設で展示・配布を行い、まちへの関心や愛着を高めていく。

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

周辺事業者、千石小学校区、千種区役所、千種土木事務所、千種警察署、その他関係行政機関

6 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
2023 年 4 月～5 月	夏イベント内容検討
2023 年 6 月	勉強会①
2023 年 6 月～8 月	夏イベント運営検討（広報・PR の方針づくり）
2023 年 7 月	夏イベントのチラシ・ポスター印刷、うちわ・歩道装飾の制作
2023 年 8 月	夏イベントの実施
2023 年 8 月～9 月	秋イベント内容検討 まちの魅力マップの作成・印刷
2023 年 10 月	勉強会②
2023 年 10 月～11 月	秋イベント運営検討（広報・PR の方針作り） 秋イベントのチラシ・ポスター印刷
2023 年 11 月	秋イベントの実施（公共空間活用）
2024 年 2 月	勉強会③
2023 年 8 月 ～2024 年 3 月	将来ビジョンの更新

7 活動後、次年度以降の展望

来年度以降も、周辺事業者と連携し、地域住民参加型のイベントをおこなうことで、まちづくり活動の PR、地域住民の参加を促していく。住民アンケートの実施や、公共空間活用の社会実験などアクションを通じて検証・課題抽出を行うことで、事業者だけでなく、地域住民の声を反映した将来ビジョンの作成が行えると考えている。また、実施する社会実験では、鶴舞・千種エリアがもつ水やビールなどの資源を活かすことで、地域住民に地域の魅力を共有していくことを目指している。そして、地域住民や団体等の関係者を拡大しながら活動の幅を広げていくことで、活動エリアが抱えている地域活動における担い手の高齢化という課題解決にも繋げていく。

※ この様式は公開されます。